

奈良県知事 殿

〔設置者の名称〕 一般社団法人奈良県医師会

〔代表者の役職〕 会長 安東 範明

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	奈良県医師会看護専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <b>専門学校</b> )
大学等の所在地	奈良県橿原市内膳町 5 丁目 5 番 8 号
学長又は校長の氏名	校長 竹村 惠史
設置者の名称	一般社団法人奈良県医師会
設置者の主たる事務所の所在地	奈良県橿原市内膳町 5 丁目 5 番 8 号
設置者の代表者の氏名	会長 安東 範明
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="http://nik.ac.jp/publics/index/71/">http://nik.ac.jp/publics/index/71/</a>

※以下のいずれかの□にレ点(☑)を付けてください。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。 この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧（奈良県医師会看護専門学校）

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務部 吉岡美江子	0744-22-3430	ishikaikansen@nara.med.or.jp
第2号の1	教務部 熊谷江利子	同上	同上
第2号の2	事務部 吉岡美江子	同上	同上
第2号の3	教務部 熊谷江利子	同上	同上
第2号の4	事務部 吉岡美江子	同上	同上

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	奈良県医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県医師会

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	円	円	△4,594,616円
申請2年度前の決算	円	円	△26,075,695円
申請3年度前の決算	円	円	△16,459,656円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	779,372,005円	7,069,720円	772,302,285円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	120人	124人	103%
前年度	120人	125人	104%
前々年度	120人	124人	103%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	奈良県医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	83 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://nik.ac.jp/publics/index/71/">http://nik.ac.jp/publics/index/71/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	奈良県医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	会議の定数は6名以上。学校長が任命する。学外理事は当該会議に参画し、教育方針及び教育計画等の決定、学校の規則規程の制定及び改廃、学校評価、入学・卒業、学生の進路等について学外理事の意見を反映させ、継続的に安定した学校教育運営ができるよう取り組む。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
開業医	令和元年7月1日 ～令和3年6月31日	開業医として長年にわたり地域医療に携わり、また、奈良県医師会活動の事業の一翼を担っている学識経験者としての立場から、看護師教育、学校経営等に意見を反映させる
開業医	令和元年7月1日 ～令和3年6月31日	
(備考)		

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	奈良県医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	会議の定数は6名以上。学校長が任命する。学外理事は当該会議に参画し、教育方針及び教育計画等の決定、学校の規則規程の制定及び改廃、学校評価、入学・卒業、学生の進路等について学外理事の意見を反映させ、継続的に安定した学校教育運営ができるよう取り組む。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
開業医	令和元年7月1日 ～令和3年6月31日	開業医として長年にわたり地域医療に携わり、また、奈良県医師会活動の事業の一翼を担っている学識経験者としての立場から、看護師教育、学校経営等に意見を反映させる
開業医	令和元年7月1日 ～令和3年6月31日	
(備考)		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	奈良県医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://nara.med.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/06/taishaku_r2.pdf">http://nara.med.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/06/taishaku_r2.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	閲覧希望者は、奈良県医師会事務所に申し出ることにより閲覧することができる
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3005 単位時間／102 単位	1970 時間 /79 単位	単位時間 /単位	1035 時間 /23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		124 人	0 人	10 人	68 人	78 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（授業目標、授業計画、学習課題、受講上の注意、評価方法、テキスト・参考書）を前期授業と後期授業に分け、学期開始前に学生に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第5章及び履修規定に則り、成績の評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則第5章及び履修規定に則り、運営会議を経て認定を行っている。
学修支援等
（概要） 学習面では、個別指導を中心に行っている。 経済的には、日本学生支援機構奨学金をはじめとする奨学金の相談窓口を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (%)	41 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 県下医療機関等			
(就職指導内容) 医療機関の職員募集冊子の開示や就職個別相談を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125人	1人	0.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更(授業内容が難しく自分のイメージしていたものとは違っていた)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談を実施している。 保護者を交えての面談を行っている。		

## ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	250,000円	648,000円	600,000円	教育充実費 100,000円 施設整備費(初年度のみ)500,000円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				



b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://nik.ac.jp/publics/index/63/">http://nik.ac.jp/publics/index/63/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学校関係者評価委員の定数は4名以上。委員の構成は、実習施設1名以上、卒業生1名以上、保護者2名以上。実施方法は、学校自己評価(教育課程経営等)の結果を基に関係者評価(教育理念・目標への到達度等)を行い、学校自己評価の客観性・透明性を高めると共に、関係者評価結果を踏まえて教職員会議、運営会議で再度検討を行い、学校運営の改善に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
県内医療機関	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	実習病院看護部長・看護師長
県内医療機関	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	実習病院看護部長・看護師長
畝傍会(本校同窓会)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生(奈良県在住者)
畝傍会(本校同窓会)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生(奈良県在住者)
保護者	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	在校生保護者
保護者	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	在校生保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://nik.ac.jp/publics/index/63/">http://nik.ac.jp/publics/index/63/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://nik.ac.jp">http://nik.ac.jp</a>
--